

結

京丹後

ゆい



京丹後市障害者相談支援事業所 結
京丹後市峰山町杉谷 770 番地

0772-69-1040

発行責任者 管理者 小谷 美紀

第2号 2017. 10. 1

福祉と私

☞長年に渡り福祉に携わり、京都府北部の福祉事業を創ってこられた方々をご紹介します。



社会福祉法人 久美の浜福祉会

理事 大下 映子 さん



一緒に住んでいた叔母に障害があり、子どものころから障害の人へのお手伝いを普通に行っている生活でした。学校卒業時にびわこ学園**高谷清先生**にお誘いを受け医療問題研究会などいろいろな場所について行き学

ばせて頂き、その後**第二びわこ学園**で仕事を始めました。

施設の中での仲間の生活や職員の労働条件など劣悪な環境の中（施設解体論時代）で、自分は何をしているのだろうと言う思いが常にありましたが、全障研京都大会で知り合った施設職員と加藤直樹先生が中心で創められた施設問題研究会に参加するためライトハウスまで毎月行くことが楽しみでした。

与謝の海養護学校では夏祭りなどを通じて地域の人との関わりに重きを置きやっていたなかで養護学校の三つの理念を学ぶことができました。

全国で初めてのろう重複障害者の重度授産施設（労働・生活施設）**いこいの村・栗の木寮**が開所されることとなり、精神科病院に入院されている方や在宅の方へ訪問し、入所を勧めました。手話や口話でもできずコミュニケーションが取れない、学校にも通えなかった仲間の方がほとんどでしたが、身振り手振りで一生懸命施設の紹介をしました。入所してもコミュニケーションが取れず不安が大きい事で、施設の備品がボロボロになるような仲間の行為がありましたが、ろうあ協会の方や職員から身振りや手話、絵巻物などでここは安全だと必死で伝えました。そんな中、言葉を獲得し始めた70歳代の仲間が「仕事がんばる、体元気」と発言され、何歳でも人は変わり世界は広がると感激しました。「仕事終わり」が仲間の最初の共通言語となり、少しずつ仲間の姿勢や目の輝きが変わってきました。

その後**みねやま作業所**に勤務し、事務の仕事を行いました。**久美浜作業所**を作ろうと親の会の協力や又地域の方々にも支えられ、職員2名、仲間8名から始めることができました。仲間の権利を守ること、発達の権利保障を念頭におき支援を行う中で、地域に恵まれ繋がりがながら歴史の歯車を前に廻すお手伝いができたと思っています。

やまゆり園事件のような障害の方への権利を認めない思想を少しでも無くすために、仲間の姿を見てもらいそこから元気や学びを貰えることを多くの方に知ってほしいと思います。仲間だけでなく、仲間の家族も自分の人生を生きていけるような社会を望んでいます。



NEW 新しくできた

Ma・Roots(マ・ルート)

さんに

お話を伺ってきました！



☆Ma・Roots とは

・高齢（特別養護老人ホーム）、障害（就労継続支援 B 型、生活介護、放課後等デイ）、児童（保育所）、実習受入れが可能な総合的な福祉施設です。



☆特徴

・利用者、職員、地域の方、誰にとっても「私たちの居場所」となることを目指しています。複数の事業が同じ建物にあり、どの事業からも他の事業が見え、近くに感じることができます。特別なイベント時だけでなく、「日常的」にみんなが交流できることが大事だと考えています。

☆障害分野では

・みねやま福祉会では初となる「就労継続支援 B 型」を開所しました。作業内容は施設内の清掃や調理補助、キッチンカーを使用して敷地内外でのカフェ業務をおこなっていく予定です。

☆実習施設に関して

・丹後地域の課題として、福祉に携わる人手不足が挙げられると思います。丹後出身者はもちろん、地域外の方にも「ターン」してもらえよう、安心して実習に取り組める環境を目指しました。実習生の意見も参考にし、宿泊施設は全室個室となっています。また、丹後地域の法人が活性化できるよう、法人間連携を意識し、人材育成の拠点となれるよう努めていきたいと考えています。「丹後で働きたい」と思ってもらえるようにこの地域の魅力を発信していければと思います。



☆地域とともに

・一般的に「福祉事業所」というと中に入りづらいイメージがあると思いますが、Ma・Roots は地域の方も気軽に足を運んでいただき、「私たちの居場所」と感じてもらいたいと考えています。地域との垣根を低くするため、ハード面でもあまり「福祉事業所」を感じないように意識しています。花火などのイベント等も一緒に楽しみ、みんなで Ma・Roots を作っていききたいです。



みねやま福祉会 Ma・Roots (マ・ルート)

〒626-0061

京都府宮津市字波路 716 番地の 3

TEL: 0772-20-1150

<http://www.mineyama-fukusikai.jp/>

移送サービス事業所の紹介です



車いす対応車両
中型車・小型車



「風和里」は一人での外出は難しい、または外出することに不安がある方も、“行きたい時に行きたいところへでかけて欲しい”そして、それが楽しく思い出に残るものになって欲しいとの思いで、平成 28 年 5 月から、ご夫婦で介護タクシーの運行を開始されました。

今日の『風』に触れて欲しい。外に出て季節感を感じ、通院など必要な外出だけでなく、思い出の場所や人たちと地域での繋がりをもって『和んで』、その地域『ふる里』を味わって欲しいと『風和里』と名付けられました。

ご夫婦は介護施設や障害者の方の居宅介護の経験もあり、介護福祉士の資格も持たれています。移送だけでなく、身体障害の方の通院時に、銀行に寄ったり、買い物などの支援もしていただけます。また、寝たきりの方の通院時には、ベッドからの移乗の支援をはじめ、受診時の付添いや通院後のベッドへの移乗とオムツ交換や着替え等の身体介護までの支援をされています。本人や、ご家族からも、大変喜ばれてリピーターとなっている方も多くお聞きしています。現在は 100 人ぐらいの方から月に 150 回ほどの利用の依頼があるそうです。

※「移動や出先で助けが必要なところは、ぜひ介護タクシー『風和里』を頼ってください。お出かけを生活の楽しみ・ハリ・生きる力にして欲しいです。」というのを聞かせていただきました。

一般乗用旅客自動車運送事業（福祉輸送限定）近運自二第 840 号

介護タクシー 風和里

TEL: 0772-66-3096

《営業時間》

月～土 AM 8:00～PM 5:00 ◆日・祝は事前予約制

- ・予約により早朝、夜間の運行もできます。
- ・緊急時は相談ください。



これっ!ええやん!
おっちゃ便利やん!



ワンハンド調理板



半身麻痺や、握力の低下がある方が調理をされる際に便利なまな板です。

エッジに留め具と、針がついており転がりやすいニンジンやジャガイモを切ったり、皮をむくことができます。

針がでていたのでケガをしないよう、収納時用のカバーがついています。しっかりと固定された状態で切ったり、むいたりできるので、力も入れやすく安全です。エッジの留め具は取り外し可能。滑り止めシートなどと併せて利用すると更に安全性が高まると思われます。



編集後記

『福祉と私』の中で大下氏がお話くださった”養護学校の三つの理念”をここで紹介します。

①すべての子どもに等しく教育を保障する学校を。
②学校に子どもをあわせるのではなく、子どもに合った学校を。

③学校づくりは箱づくりではなく民主的な地域づくりだ。

この理念の下に”与謝の海養護学校創り運動”が展開されたのです。

障害があっても発達を保障し、当事者に合った事業所づくりをし、事業所づくりは地域づくりなのだということを、初心に戻り胸に刻みたいと思います。いい言葉だと、しみじみ思います。(あづ)